

## 2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年4月4日

上場会社名 株式会社あみやき亭 上場取引所 東 名  
 コード番号 2753 URL http://www.amiyakitei.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 佐藤 啓介  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 千々和 康 TEL 0568-32-8800  
 定時株主総会開催予定日 2025年6月24日 配当支払開始予定日 2025年6月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2025年6月20日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	35,332	6.2	2,638	18.8	2,726	17.9	1,736	32.8
2024年3月期	33,267	16.6	2,221	426.4	2,311	229.7	1,307	889.9

(注) 包括利益 2025年3月期 1,736百万円 (32.8%) 2024年3月期 1,307百万円 (889.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	84.50	84.49	8.1	9.9	7.5
2024年3月期	63.64	—	6.4	8.9	6.7

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 -百万円 2024年3月期 -百万円

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	27,810	21,941	78.9	1,067.86
2024年3月期	27,236	20,894	76.7	1,017.03

(参考) 自己資本 2025年3月期 21,939百万円 2024年3月期 20,894百万円

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	2,712	54	△892	7,551
2024年3月期	3,531	△1,619	△679	5,677

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	40.00	—	50.00	90.00	616	47.1	3.0
2025年3月期	—	51.00	—	17.00	—	698	40.2	3.3
2026年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00	—	—	—

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期の第2四半期以前の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2025年3月期の期末配当金は51円、年間配当金は102円であり、また、2026年3月期(予想)の第2四半期末及び期末配当金は51円、年間配当金は102円です。

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,100	8.6	1,420	5.3	1,460	5.5	930	13.4	45.27
通期	38,800	9.8	2,910	10.3	3,000	10.0	1,910	10.0	92.97

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年3月期	20,546,400株	2024年3月期	20,546,400株
2025年3月期	1,530株	2024年3月期	1,443株
2025年3月期	20,544,870株	2024年3月期	20,544,957株

※当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等の注記) .....	11
(1株当たり情報の注記) .....	13
(重要な後発事象の注記) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度のわが国経済は、企業業績の好調を背景に賃上げや価格転嫁が進み、各種経済対策の効果で雇用・所得環境が改善し、景気は緩やかに回復しているものの、物価上昇や国際情勢、金融市場の変動などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業では、インバウンド需要が過去最高を記録し堅調ですが、円安によるエネルギーをはじめとした輸入コスト増や人手不足を起因とする物流費・人件費の上昇及び物価高によるお客様の節約・選別志向の高まりなど事業環境は、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループは、「和牛一頭買い」を導入し、お客様の高品質かつ旨味のある赤身志向にお応えするとともに仕入れの効率化とセントラルキッチンで専門の職人が部位ごとにカットし、高品質な赤身肉や希少部位と価値観・お値打ち感のある価格にて提供することを実現しました。

さらに、店舗運営では、和牛一頭買い専門店・オープンキッチン方式店舗など新型店舗展開を行い、また、省人化と迅速なサービス提供のため自動案内機の導入を試行いたしました。

店舗数につきましては、11店舗（レストラン事業9店舗、焼鳥事業1店舗、その他事業1店舗）を新規出店し、7店舗（焼肉事業3店舗、レストラン事業4店舗）を業態変更し、10店舗（焼肉事業7店舗、焼鳥事業3店舗）をリニューアルしたほか、9店舗（焼肉事業7店舗、焼鳥事業2店舗）を撤退した結果、当連結会計年度末の店舗数は288店舗となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高35,332百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益2,638百万円（前年同期比18.8%増）、経常利益2,726百万円（前年同期比17.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,736百万円（前年同期比32.8%増）となり、売上高は過去最高となりました。

#### <焼肉事業>

焼肉事業の当連結会計年度末の店舗数は、164店舗であります。

内訳は、「あみやき亭」87店舗、「あみやき亭PLUS」7店舗、「どんどん」10店舗、「ほるとん屋」13店舗、「スエヒロ館」21店舗、「かるび家」1店舗、「ブラックホール」4店舗、「ホルモン青木」8店舗、「ホルモンセンター」他12店舗、「百名山」1店舗であります。

以上の結果、焼肉事業の当連結会計年度の売上高は、22,366百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

#### <焼鳥事業>

焼鳥事業の当連結会計年度末の店舗数は、52店舗であります。

内訳は、「美濃路」37店舗、「みの路」6店舗、「もつしげ」9店舗であります。

以上の結果、焼鳥事業の当連結会計年度の売上高は、3,705百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

#### <レストラン事業>

レストラン事業の当連結会計年度末の店舗数は、59店舗であります。

内訳は、「感動の肉と米」45店舗、レストラン「スエヒロ館」14店舗であります。

以上の結果、レストラン事業の当連結会計年度の売上高は、7,669百万円（前年同期比30.8%増）となりました。

<その他の事業>

その他事業の当連結会計年度末の店舗数は、13店舗であります。

内訳は、精肉小売店「お肉の工場直売市」1店舗、和牛しゃぶしゃぶ・ステーキ「喜楽」1店舗、しゃぶしゃぶ店「しゃぶ亭ふふふ」2店舗、居酒屋「楽市」2店舗、寿司業態の「すしまみれ」2店舗、ダイニング1店舗、「とりとん」他4店舗であります。

以上の結果、その他の事業の当連結会計年度の売上高は、1,591百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

当連結会計年度末の総資産は、27,810百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金9,483百万円、有形固定資産9,069百万円となっております。

(ロ) 負債

当連結会計年度末の総負債は、5,869百万円となりました。主な内訳は、買掛金1,316百万円、未払金及び未払費用1,403百万円となっております。

(ハ) 純資産

当連結会計年度末の純資産合計は、21,941百万円となりました。主な内訳は、利益剰余金17,040百万円となっております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、7,551百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2,712百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が2,618百万円となったこと等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、54百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が1,758百万円あったこと等を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、892百万円となりました。これは主に、配当金の支払額が691百万円あったこと等を反映したものであります。

(4) 今後の見通し

次期見通しにつきましては、賃上げによる所得の増加に伴う経済の好循環により、景気は緩やかな回復基調が続くものの、原材料費、人件費及びエネルギー価格の上昇による継続的な物価上昇が懸念され、消費者マインドにマイナスの影響を及ぼす恐れがあるなど先行き不透明な状況が続くと思われま

すが、外食産業を取り巻く環境は、原材料の仕入れ価格の高騰や人件費の上昇及び物価の高騰による消費者の節約志向等、引き続き厳しい状況が続くものと思われま

この様な状況の下、当社グループは、「和牛一頭買い」による高品質の赤身肉や希少部位をお値打ち価格で提供するとともに構造改革の総仕上げ及び既存店リニューアルに伴う新型店舗の展開などの既存店強化策により収益力向上に努めてまいります。

また、低価格かつ高品質なステーキを提供する「感動の肉と米」を中心に、焼肉事業や焼鳥事業等を含め、関西地方での新規出店を強化してまいります。

なお、次期の新規出店につきましては「感動の肉と米」を中心に20店舗を計画しております。

以上にに基づき、次期の業績につきましては、売上高38,800百万円（前期比9.8%増）、営業利益2,910百万円（前期比10.3%増）、経常利益3,000百万円（前期比10.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,910百万円（前期比10.0%増）を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、現状は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R S (国際財務報告基準) の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、検討を進めていく方針であります。現時点においては未定であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,677	9,483
預け金	300	368
売掛金	12	13
商品及び製品	98	106
原材料及び貯蔵品	1,402	1,068
未収入金	975	984
その他	273	295
流動資産合計	12,740	12,319
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,030	5,055
構築物(純額)	232	347
機械及び装置(純額)	290	330
車両運搬具(純額)	7	7
工具、器具及び備品(純額)	319	303
土地	2,882	3,009
建設仮勘定	42	16
有形固定資産合計	7,805	9,069
無形固定資産		
ソフトウェア	13	15
のれん	2,309	2,108
その他	10	9
無形固定資産合計	2,332	2,133
投資その他の資産		
長期貸付金	493	521
繰延税金資産	1,356	1,227
差入保証金	1,521	1,434
投資不動産	293	290
その他	692	813
投資その他の資産合計	4,357	4,287
固定資産合計	14,496	15,491
資産合計	27,236	27,810

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,406	1,316
短期借入金	300	300
1年内償還予定の社債	45	30
1年内返済予定の長期借入金	125	104
未払金及び未払費用	1,459	1,403
未払法人税等	715	469
契約負債	111	133
賞与引当金	135	111
株主優待引当金	9	13
その他	803	528
流動負債合計	5,110	4,411
固定負債		
社債	30	—
長期借入金	375	271
リース債務	241	606
退職給付に係る負債	8	7
資産除去債務	506	502
その他	69	70
固定負債合計	1,231	1,458
負債合計	6,341	5,869
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,426	2,426
利益剰余金	15,996	17,040
自己株式	△1	△2
株主資本合計	20,894	21,939
新株予約権	—	2
純資産合計	20,894	21,941
負債純資産合計	27,236	27,810

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	33,267	35,332
売上原価	12,888	13,745
売上総利益	20,379	21,586
販売費及び一般管理費	18,157	18,948
営業利益	2,221	2,638
営業外収益		
受取利息	3	15
受取賃貸料	35	35
協賛金収入	17	11
その他	41	36
営業外収益合計	98	98
営業外費用		
支払利息	3	6
匿名組合投資損失	2	1
不動産賃貸費用	2	2
営業外費用合計	8	11
経常利益	2,311	2,726
特別利益		
固定資産売却益	19	0
受取保険金	0	49
特別利益合計	19	49
特別損失		
固定資産除却損	34	40
減損損失	261	113
賃貸借契約解約損	8	1
その他	6	1
特別損失合計	310	156
税金等調整前当期純利益	2,020	2,618
法人税、住民税及び事業税	699	753
法人税等調整額	13	128
法人税等合計	712	882
当期純利益	1,307	1,736
親会社株主に帰属する当期純利益	1,307	1,736

## (連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	1,307	1,736
包括利益	1,307	1,736
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,307	1,736

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	2,473	2,426	15,168	△1	20,066	—	20,066
当期変動額							
剰余金の配当			△479		△479		△479
親会社株主に帰属する当期純利益			1,307		1,307		1,307
自己株式の取得							—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							—
当期変動額合計	—	—	828	—	828	—	828
当期末残高	2,473	2,426	15,996	△1	20,894	—	20,894

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	2,473	2,426	15,996	△1	20,894	—	20,894
当期変動額							
剰余金の配当			△691		△691		△691
親会社株主に帰属する当期純利益			1,736		1,736		1,736
自己株式の取得				△0	△0		△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						2	2
当期変動額合計	—	—	1,044	△0	1,044	2	1,046
当期末残高	2,473	2,426	17,040	△2	21,939	2	21,941

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,020	2,618
減価償却費	821	829
減損損失	261	113
のれん償却額	170	200
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19	△23
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	3	4
有形固定資産除却損	34	40
受取利息	△3	△15
支払利息	3	6
売上債権の増減額 (△は増加)	2	△1
棚卸資産の増減額 (△は増加)	497	326
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△139	△28
仕入債務の増減額 (△は減少)	7	△89
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△80	△59
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△63	△298
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	37	32
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	32	20
その他	0	43
小計	3,585	3,720
利息の受取額	3	5
利息の支払額	△3	△6
保険金の受取額	—	14
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△53	△1,021
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,531	2,712
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,500	△5,300
定期預金の払戻による収入	11,700	7,300
有形固定資産の取得による支出	△1,234	△1,758
有形固定資産の除却による支出	△21	△66
無形固定資産の取得による支出	—	△6
差入保証金の差入による支出	△55	△60
差入保証金の回収による収入	26	109
貸付けによる支出	△276	△143
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,267	—
その他	9	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,619	54
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△136	△125
リース債務の返済による支出	△18	△30
社債の償還による支出	△45	△45
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△479	△691
財務活動によるキャッシュ・フロー	△679	△892
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,232	1,873
現金及び現金同等物の期首残高	4,445	5,677
現金及び現金同等物の期末残高	5,677	7,551

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社のセグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は本社に業態別の包括的な戦略を立案する複数の事業統括を設置し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「焼肉事業」、

「焼鳥事業」及び「レストラン事業」の3つを報告セグメントとしております。  
 「焼肉事業」は焼肉を提供する飲食店を展開しており、主な店舗としては「あみやき亭」「どんどん」「焼肉スエヒロ館」を展開しております。「焼鳥事業」は焼鳥を提供する飲食店を展開しており、主な店舗としては「元祖やきとり家美濃路」「もつしげ」を展開しております。「レストラン事業」はステーキとハンバーグを提供する飲食店を展開しており、主な店舗としては「感動の肉と米」「レストランスエヒロ館」を展開しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸 表計上額
	焼肉	焼鳥	レストラン	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	22,446	3,427	5,864	31,738	1,529	33,267	—	33,267
外部顧客への売上高	22,446	3,427	5,864	31,738	1,529	33,267	—	33,267
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	22,446	3,427	5,864	31,738	1,529	33,267	—	33,267
セグメント利益	1,689	290	340	2,319	70	2,390	△168	2,221
セグメント資産	7,576	405	2,634	10,616	258	10,875	16,361	27,236
その他の項目								
減価償却費	572	48	180	800	18	818	—	818
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	643	51	577	1,272	12	1,285	41	1,326

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、居酒屋事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額△168百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。セグメント資産の調整額16,361百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産等であります。

3. セグメント負債の金額は、当社の最高意思決定機関において定期的に提供・使用しておりません。

4. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額41百万円については本社等の設備投資額であります。

5. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸 表計上額
	焼肉	焼鳥	レストラン	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	22,366	3,705	7,669	33,740	1,591	35,332	—	35,332
外部顧客への売上高	22,366	3,705	7,669	33,740	1,591	35,332	—	35,332
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	22,366	3,705	7,669	33,740	1,591	35,332	—	35,332
セグメント利益	1,831	352	560	2,744	93	2,837	△199	2,638
セグメント資産	7,636	482	3,348	11,467	296	11,763	16,047	27,810
その他の項目								
減価償却費	525	59	227	813	13	827	—	827
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	703	141	747	1,592	44	1,636	622	2,259

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、居酒屋事業等を含んでおり  
ます。
2. セグメント利益の調整額△199百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。セグメ  
ント資産の調整額16,047百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産等であります。
3. セグメント負債の金額は、当社の最高意思決定機関において定期的に提供・使用しておりません。
4. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額622百万円については本社等の設備投資額であります。
5. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報の注記)

項目	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	1,017.03円	1,067.86円
1株当たり当期純利益金額	63.64円	84.50円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	84.49円

(注) 1. 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり情報を算定しております。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,307	1,736
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,307	1,736
普通株式の期中平均株式数(千株)	20,544	20,544
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	—	3
(うち新株予約権(千株))	—	(3)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。